

# 東京四極だより

【書：篠田直雄 東京四極会初代理事長・昭和3年卒 高商4回】

<http://www.tokyoshiwasukai.jp/>

発行者 野易之生  
編集責任者 奥川隆生  
発行所 東京四極会  
〒210-0812  
川崎市川崎区東門前3丁目11-14  
丸伊ビル1階 カワカ産業株式会社内  
E-mail : info@tokyoshiwasukai.jp

## 平成三十年

# 東京四極会 新年会開催！

2月3日(土) 12時から、新日鐵代々木俱樂部で47名の参加を得て恒例の東京四極会新年会を開催した。

地元大分からは四極会会長石川公一氏、百周年記念事業実行委員長・野々下俊昭氏、大分大学副学長・下田憲雄氏を来賓としてお迎えした。



司会は大坪孝幸事務局長(第55回)が担当。まず姫野易之理事長(第44回)が挨拶にたった。



**姫野理事長挨拶**  
「昨晚の雪の影響が心配だったが大事に至らずの開催となった。本日は昭

和60年卒の小林伸彦さんの声かけにより教育学部工学部の方々の参加も得て、今後は連合会ベースの新年会になっていくことも期待したい。母校は2022年(平成34年)に創立100周年を迎え、四極会本部としても準備に入っている。また、全国の本部支部のあり方について見直しの検討を行っており、本年7月ごろに成案を得る予定だ。財政の立て直しに直面している東京四極会では、会費とともに賛助金の受付をお願いしている。また、会報などの送付範囲の見直しについては当面先送りしたい。執行部の体制については、任期2年の途中であるが、本年6月の総会をもって交代としたい。具体的な人選については総会前の理事会にお諮りしたい。最後にお願いが、私が今住む街の出身、稀勢の里を見捨てないで応援を続けてほしい」と会場の笑いを誘っての挨拶となった。



引き続き、石川四極会会長が、2022年の母校100周年に向けた準備状況、且の原世代が6割を超え、女性比率が42%に達している四極会構成の変化、少子化の波を受けている大学運営について、また、下田副学

長は、昨年4月からスタートした社会イノベーション学科で4学科体制になっていること、社会で通用する学生の育成などをそれぞれのご挨拶の中で披露された。



(※来賓お二人のご挨拶の詳細は次頁をご覧ください。) そのあと、久しぶりの

出席となった衛藤晟一参議院議員が挨拶に続いた。衛藤議員は挨拶でご自身の問題意識と国政の状況を丁寧な披露したあと、懇談の輪の中に入り多くの参加者と意見交換を楽しまれた。



その後、松浦隆志事務局長(第47回)による口上で乾杯し新年会に移った。



宴の半ばで、恒例の行事紹介を松岡幸秀氏(囲碁会幹事・第52回)、梅谷寛雄氏(たまには歩こう会幹事・第38回)・田中典明氏(同幹事・第48回)、高橋信行副理事長



今後の予定

◆たまには歩こう会  
年数回を予定

◆東京四極囲碁会  
年数回を予定

◆春の懇親ゴルフ  
4月大宮ゴルフコース

◆秋の懇親ゴルフ  
9月習志野カントリークラブ他

◆平成30年理事会・総会  
6月2日(土)

◆新日鐵代々木倶楽部  
平成30年若手会員の集い

8月6日(月)  
田町ニュートーキョー

◆平成31年新年会  
来年2月2日(土)

◆新日鐵代々木倶楽部

※お問い合わせは、ハガキで東京四極会事務局または、東京四極会ホームページ問い合わせ欄でお願いします！

東京四極会ホームページもご覧ください  
東京四極会HPは会報だけではカバーできない会員皆さまからの寄稿文、歩こう会の記録、過去の会報バックナンバー、総会や新年会のご来賓の挨拶などを掲載しています。また、HPからも事務局問い合わせや入会・会員登録変更の連絡ができます。

東京四極 検索

(ゴルフ会幹事・第44回)が行った。



東京四極会の名指揮者 団、梅谷先輩と佐藤勝峰 事務局長(第45回)の リードによる校歌・寮歌 斉唱のち、今回参加者 の中で最高齢の松岡昭雄 氏からのご挨拶と先日お 亡くなりになった池辺和 郎先輩(第25回)のご冥 福をお祈りしたあと、高 橋信行副理事長が中締め を担当。一同、これから の1年の会員の健康と次 回の総会の盛会を祈って 散会した。



参加会員(敬称略)

松岡昭雄(第26回)、後 藤浩(第33回)、用正靖 典明(第48回)、下村晃(第

- 彦(第36回)、一万田道 敏(第38回)、梅谷寛雄 (同)、小野二六(同)、 福田有序(同)、大山博 康(第40回)、友永英一 (同)、武藤孝雄(同)、 葛城征志(第41回)、永 川哲明(同)、永野基昭 (同)、野田和文(同)、 松浦靖弘(同)、田川俊 夫(第44回)、竹上英文 (同)、高橋信行(同)、 姫野易之(同)、溝辺憲 治(同)、衛藤晟一(第 45回)、佐藤勝峰(同)、 西依章郎(第46回)、松 浦隆志(第47回)、田中 平成(第25年)
- 49回、伊賀勝秀(第50 回)、奥川隆生(同)、森 松祥兆(第51回)、木下 忠夫(第52回)、松岡幸 秀(同)、石川公博(第 53回)、米井晃彦(第54 回)、大坪孝幸(第55回)、 國廣保彦(第56回)、西 坂憲郁(同)、梅木俊宏(第 58回)、小林伸彦(第60 回)、内田孝一(第61回)、 賀来良治(第62回)、内 田智之(第72回平成9年 工学部、坂本浩一(同 教育学部)、吉田勝山 (同)、藤原歩美(第88回 平成25年)

以上44名



# 理事長からのメッセージ

こんにちは！理事長の姫野です。日頃から東京四極会の活動にご理解いただきありがとうございます。

去る2月3日、平成30年新年会が新日鐵代々木倶楽部にて開催され、44名の会員が出席しました。

なお、新年会の詳細につきましては、東京四極会のホームページをご覧ください。

また、行事案内などの送付先限定については、財政状況を見ながら、さらにそれ以降の実施を予定しています。

現在、四極会本部にて「100周年記念事業準備委員会」に加え、「支部と本部との在り方委員会」について、本年7月に最終実行案を得るために、検討を続けています。

また、行事案内などの送付先限定については、財政状況を見ながら、さらにそれ以降の実施を予定しています。

また、行事案内などの送付先限定については、財政状況を見ながら、さらにそれ以降の実施を予定しています。

また、行事案内などの送付先限定については、財政状況を見ながら、さらにそれ以降の実施を予定しています。

また、行事案内などの送付先限定については、財政状況を見ながら、さらにそれ以降の実施を予定しています。

また、行事案内などの送付先限定については、財政状況を見ながら、さらにそれ以降の実施を予定しています。

また、行事案内などの送付先限定については、財政状況を見ながら、さらにそれ以降の実施を予定しています。

また、行事案内などの送付先限定については、財政状況を見ながら、さらにそれ以降の実施を予定しています。

また、行事案内などの送付先限定については、財政状況を見ながら、さらにそれ以降の実施を予定しています。

また、行事案内などの送付先限定については、財政状況を見ながら、さらにそれ以降の実施を予定しています。



石川会長  
ごあいさつ

皆さま、新年おめでとございます。いつも東京支部の皆さんにはお世話になっております。東京支部は一番頼りにしている支部です。

いくつか、四極会の活動についてお話をしました。2020年にわが母校は100周年を迎えます。四極会と経済学部が一緒になって、昨年10月に二つの実行委員会と四つの小委員会を立ち上げて準備を進めています。

昨日、母校の入学試験の志願受付が締め切られました。倍率は3・5に比べ今年2・5という結果でした。倍率が落ちる背景には少子化の影響があります。一昨年の大分県の出生数は9059名です。平成22年には4万3千名だったので、出生は四分の一に落ち込んだことになりました。どうぞ、皆さん、いい学生を大分大学に送り

また、工学部は理工学部で改組しました。東京四極会でも活躍された渡邊先生が社会イノベーション学科の中心として活動されています。私もこの学科に移ってきて、社会イノベーションとは社会全般の新しい知見を得ることだと気づきました。先ほど、石川会長から入試倍率について厳しいご意見をいただきましたが、入ってきた学生は鍛え上げて社会に送り出したいと思えます。今後、100周年に向けて学部としても頑張っています。

また、工学部は理工学部で改組しました。東京四極会でも活躍された渡邊先生が社会イノベーション学科の中心として活動されています。私もこの学科に移ってきて、社会イノベーションとは社会全般の新しい知見を得ることだと気づきました。先ほど、石川会長から入試倍率について厳しいご意見をいただきましたが、入ってきた学生は鍛え上げて社会に送り出したいと思えます。今後、100周年に向けて学部としても頑張っています。

新年会、おめでとうございます。本来は大崎学部長が出席する予定でしたが大学院業務で手が放せなくなり、私が出席させていただきました。大学では、昨年4月に社会イノベーション学科がスタートして4学科体制になりました。

また、工学部は理工学部で改組しました。東京四極会でも活躍された渡邊先生が社会イノベーション学科の中心として活動されています。私もこの学科に移ってきて、社会イノベーションとは社会全般の新しい知見を得ることだと気づきました。先ほど、石川会長から入試倍率について厳しいご意見をいただきましたが、入ってきた学生は鍛え上げて社会に送り出したいと思えます。今後、100周年に向けて学部としても頑張っています。

また、工学部は理工学部で改組しました。東京四極会でも活躍された渡邊先生が社会イノベーション学科の中心として活動されています。私もこの学科に移ってきて、社会イノベーションとは社会全般の新しい知見を得ることだと気づきました。先ほど、石川会長から入試倍率について厳しいご意見をいただきましたが、入ってきた学生は鍛え上げて社会に送り出したいと思えます。今後、100周年に向けて学部としても頑張っています。

また、工学部は理工学部で改組しました。東京四極会でも活躍された渡邊先生が社会イノベーション学科の中心として活動されています。私もこの学科に移ってきて、社会イノベーションとは社会全般の新しい知見を得ることだと気づきました。先ほど、石川会長から入試倍率について厳しいご意見をいただきましたが、入ってきた学生は鍛え上げて社会に送り出したいと思えます。今後、100周年に向けて学部としても頑張っています。



# 囲碁会の報告

昨年は将棋の中学生棋士である藤井6段で将棋の人氣が高まりましたが、囲碁でも井山9段が2回目の7冠を達成して話題になっています。今年も将棋と囲碁両方の盛り上がり方を期待しています。



さて私たちのOB囲碁会は、3か月ごとに開催しています。2月、5月、8月、11月が基本です。場所は田中典明さん(第48回)のご紹介で、JR新宿駅の南口から近い新宿囲碁センターです。

集まった人数によって総当たり戦にしたり、2組に分けたりしますが、朝の10時から始めても5回の対局で一杯です。直近の会では優勝決定戦ができません、2人が同率で優勝を分け合いました。

メンバーには級クラスの方から段クラスの方まで幅広くいますので、棋力に関わりなく楽しめると思います。また夕方からは、近くの居酒屋で懇親会も行っていますので、参加ご希望の方は四極会事務局までご連絡ください。

各会の優勝、準優勝、参加者は以下の通りです。  
**平成29年5月19日 優勝**：中里利男、準優勝：梅谷寛雄、参加者：箕部源治、松浦靖弘、葛城征志、田中典明、松岡幸秀

**平成29年8月21日 優勝**：豊田秀造、準優勝：葛城征志、参加者：弓部義繁、箕部源治、松浦靖弘、溝辺憲治、江川和昭、田中典明、松岡幸秀  
**平成29年11月27日 優勝**：2人：箕部源治、江川和昭、参加者：河野晶二郎、準優勝：松浦靖弘、参加者：弓部義繁、箕部源治、中里利男、梅谷寛雄、溝辺憲治、田中典明、豊田秀造、松岡幸秀  
**平成30年3月1日 優勝**：松岡幸秀  
 幹事：松岡幸秀

## 秋の懇親ゴルフ会を開催

9月25日快晴無風の絶好のコンディションのもと、恒例の秋の懇親ゴルフ会を開催いたしました。

戦場は習志野CCCのインコース。女王様の名の通り池・バンカー・立ち木を絶妙に配した美しいコースながら、礼儀正しいショットをしなければたちまち罰を与えられるという厳しさも併せ持っています。11名の参加者の中で自他ともに実力者と認める石松英二さんが41-38=79の好成績で見事なベスコロ優勝を果たされました。全員の平均値が94.6と皆さなまずますの出来におおむね満足された様子でした。

打ち上げの席では約1時間に及び自己紹介で卒業後の人生経験や楽しい老後の過ごし方などそれぞれに披露された大いに盛り上がりしました。東京四極会では春と秋に懇親ゴルフ会を開催しておりますが、できるだけ多くの方が参加しやすいうち会場なども工夫してまいります。

**東京四極会 「若手会員の集い」開催**

昨年8月7日(月) 18時30分よりニユートーキー第一町店にて「若手会員の集い」を開催しました。

昭和58年以降卒業の会員と東京四極会役員とで納涼を兼ねた懇親会となった。まず、勤務先を含めた近況・自己紹介があり、懇談に入り、さらに新しい100年を迎えるに当たり、四極会本部および東京四極会への要望などを話してもらった。

その後、事務局から実施予定を説明し、同期の方々に行事参加を促す事をお願いした。最後に今年も、来年こそは若手の参加をもっと増やすことを約し、散会した。

出席者(敬称略)は次の通り。  
 梅木俊宏(S58)、小林伸彦(S60)、内田孝一(S61)、加来公広(S61)、黒木益尚(S63)、丸尾克弘(H9)、佐々木準(H23)、宮本晃成(H29)、姫野易之(S44)、佐藤勝峰(S45)、西依章郎(S46)、下村晃(S49)、野村聡(S52)、石川公博(S53)、米井晃彦(S54)、大坪孝幸(S55) 計16人

謹んでお悔やみ申し上げます(敬称略)

溝邊 昭一(第26回) 平成29年3月8日  
 轟木 昭男(第25回) 平成29年5月20日  
 元吉 英男(第31回大4) 平成29年8月23日  
 立石 正治(第40回大13) 不明  
 那須 貞雄(第25回) 不明  
 池辺 和郎(第25回) 平成30年1月29日